

羽咋駅周辺にぎわいづくり事業 ～わいわいからだフェス in LAKUNA はくい～

団体名●新谷ゼミナール、井川ゼミナール、奥田ゼミナール、西村ゼミナール

代表者名●新谷洋介（人間科学部スポーツ学科・教授）

はじめに

羽咋市にぎわい交流拠点 LAKUNA はくいが、2024年7月1日 OPEN し、OPEN 前の利用における施設との意見交換や、オープニングイベント、1周年イベントに参画させていただいてきた。

2025年度は、「羽咋駅周辺にぎわいづくり事業」に参画し、イベントを開催する機会をいただいた。

LAKUNA はくいと事前打ち合わせにおいて、高齢者の施設利用、e スポーツスタジオの稼働に課題があることが共有された。そこで、本イベントの開催にあたり、スポーツ医学、スポーツマネジメント・まちづくり、幼児・高齢者、トレーニング学、ゲーム・e スポーツ等、スポーツや身体の動きに関する多様な専門性を持つ、本学スポーツ学科のゼミナール合同で企画・実施することとした。

本企画の主な目的は、幼児から高齢者まで多様な世代が楽しめるイベントを企画すること。様々な施設を有効活用することである。

活動内容

1 だれでも体験！動いて遊ぼう！「わいわいからだフェス」

(1)開催日・開催場所

2025年11月23日(日)に、LAKUNA はくい(【3F】e スポーツスタジオ・アートスタジオ・ROOM1、【4F】LAKUNA ホール)において開催した。

幼児から高齢者まで、推定300名程度の参加者があった。

(2)体験コーナー

① e スポーツ体験(新谷ゼミ)

視線や身体の動きを使ってゲームを楽しむことができるコーナーである。

【V ライバー体験(二口研究室協力)】：バーチャルキャラクターを動かすもの。【視線や外部スイッチを使用したゲーム体験】：視線や外部スイッチを使ってパズルゲームを操作するもの。【身体を使用したゲーム体験】：足などの身体を実際に動かしてパズルゲームを操作するもの。【カーレースタイムアタック】：

本格的なカーレースゲームをハンドルやアクセルを使用するもの。

e スポーツ体験コーナーは、幼児・子どもの参加がとくに多かったコーナーであった。

運営に当たった学生からは、「子供と触れ合えてとても楽しかった。」「イベントを通して子どもだけではなく大人の方も楽しんでもらうように感じた。」「人によって接し方を変えることや説明も端的にわかりやすく伝えるために色々考えさせられることがあってとても大変だったと感じた。」等のコメントがあった。

②健康体力測定(奥田ゼミ)

自分の現在の身体の状態や基礎体力をチェックできるコーナーである。

【柔軟性】：長座体前屈や上体反らしなどで、身体の柔らかさを測定するもの。【バランステスト】：身体のバランス感覚を測定できるもの。【脚筋力測定】：脚の筋力がどれくらいあるかを測るもの。【体組成計測】：体重だけでなく、筋肉量や体脂肪率などの身体の詳しい内訳を計測するもの。

健康体力測定コーナーは、幼児から高齢者までの参加がとくに多かったコーナーであった。

運営に当たった学生からは、「大変な部分もあったが、色んな方と関わることが出来楽しかった。」「準備は大変だったが子供達の笑顔が見れたのでよかった。」「普段はかることのない体組成の係だったため、みんな興味津々で、多くの人と会話を交わすことができ、いい機会になった。」「参加者がとても多く、運営では大変なところもあったが自分達も楽しませて貰った良いイベントだった。」等のコメントがあった。

③ミニゲーム(井川・西村ゼミ)

子供から大人まで、身体を動かしながら気軽に遊べる様々なミニゲームのコーナーである。

【モルック】：段ボールの棒を投げてピンを倒すスポーツ。【3色キャッチ】：指定した色をキャッチするゲーム。【リアクションバトル】：光るセンサーを使用して反応速度を競うゲーム。【○×リレー】：○×ゲームとリレーを組み合わせた身体を使うゲーム。【テニピン】：手にはめたスポンジ製のラケットでス

ボンジボールを打ち合う、テニスを簡易化したネット型ゲーム。【わなげ】：輪を投げて的に入れる定番の遊び。【カードめくり競争】：表裏2色のカードを使い、相手チームの色から自分のチームの色にめくって変えていくゲーム。

ミニゲームコーナーは、幼児から大人までの参加がとくに多かったコーナーであった。

運営に当たった学生からは、「幅広い年齢層に向けて楽しんでもらえる企画を考えるのはとても難しいと感じた。」「このイベントを通して小さい子どもたちと一緒に楽しむことや、笑顔を見ることができて非常に嬉しい気持ちになり、良い機会となった。」等のコメントがあった。

2 だれでも体験！ゲームで遊ぼう！「わいわいからだフェス」・「ノントンといっしょくるくるぱずる大会」

(1)開催日・開催場所

2026年2月21日(土)に、LAKUNA はくい(【3F】eスポーツスタジオ・ROOM1・ROOM2)において開催した。参加者は約85名であった。

(2)体験コーナー

「わいわいからだフェス」は、11月に実施したイベントからゲーム要素の強い体験コーナーを再演したものである。「ノントンといっしょくるくるぱずる大会」は、手・足などの身体を利用して得点を競い合う4つのゲーム大会およびゲーム体験を行うものである。北海道から福岡県まで、全国各地から参加いただいた。

おわりに

イベントにご来場いただきました多くの皆様、本活動の機会をいただきました、羽咋市、LAKUNA はくい(株式会社オカモト)のご担当者様、イベントにご協力いただきました団体の皆様に心より感謝申し上げます。今後も、地域のにぎわいと共生社会の実現に向けた活動を力強く推進してまいります。



写真1 身体を使用したゲーム体験 (©SEGA)



写真2 柔軟性



写真3 リアクションバトル



写真4 わなげ